

オリンピック・パラリンピック

来年開催される東京オリンピック・パラリンピックは、スポーツの祭典です。造形に関わる分野としては、形と色で大会を支え、盛り上げるという役割が考えられます。過去の大会の事例を通して、東京2020を身近に感じさせる事例を取り上げています。

オリンピック・パラリンピックに思いをこめて

わたしたちの住む東京都江東区でも開かれる東京オリンピック・パラリンピックに興味をもち、競技のことを勉強しながら作品を作りました。



野球

フェンシング



バレーボール



スケートボード

マラソン



体操

バドミントン



バスケットボール

重量挙げ

オリンピック・パラリンピックに思いをこめて(5・6年上巻)

児童がスポーツのもつ力や価値に気づき、スポーツが平和な社会を実現することへの取り組みになるような事例を紹介しています。造形活動を通してスポーツに親しみをもてるようにしました。

わかりやすく使いやすい形と色

伝統を生かしつつも現代に合うように考えられた日本の形と色は、世界でも高く評価されています。



東京オリンピックの
ポスター
(第2号ポスター)
(103×72.8cm) 1962年
電倉雄策 (1915~97)

陸上競技用車いす 2017年
競技の内容や種類に応じて
性能を追求するとともに、
美しさも考えられている。



わかりやすく使いやすい形と色(5・6年上巻)

すべての児童がオリンピック・パラリンピックに何らかの形で関わり、その価値や意義を学ぶことが大切です。

ここでは、日本の伝統的な形と色が現代においても世界に誇るものであることを知るとともに、日本的な価値観や最先端技術を世界へ発信することにつながる事例を取り上げています。

大会に向け、児童が自国の文化を学び、日本人としての自覚と誇りを身につけ、日本のよさを世界へ伝える意欲と力を育むことにつながります。